

(城北ブロック消防広域化協議会について)

- ・経費負担方法や職員の給与制度の調整に関して、市町村間の意見の隔たりが埋まらず、解散に至った。
- ・特に、経費負担については、大きな削減効果があるにも関わらず、負担割合の考え方に開きが大きかった。
- ・県も関係市町村間の調整に努めたが、最後まで歩み寄りがなかった。

(熊本広域大水害時の対応について)

- ・阿蘇広域消防本部から県への応援要請に基づき、午前10時台に菊池広域消防本部が現場に到着した。
- ・城北ブロックが一つの消防本部と仮定したシミュレーションでは、一元化された指揮命令の下で、早期に出動指令が可能となるため、遅くとも7時台には、現場に到着できると試算。

(山鹿市の消防について)

- ・今後、山鹿植木消防本部が、消防力の確保を図っていくことは、ますます難しくなる。
- ・熊本市や隣接する消防本部との広域化を含めた検討が必要。
- ・まずは、山鹿市自身が主体的に検討し、判断される必要がある。
- ・県としても、山鹿地域の消防体制の強化が図られるよう、今後検討する広域化の取組み方針も踏まえ、必要な支援を行っていく。